

外国語(英語)

1 単元 生涯をかけて自然環境保護に取り組んだ人物についての英文題材

2 単元目標

社会的な話題（環境・共生）について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考えなどを理由とともに話して伝えることができる。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・情報や考えを述べるために必要となる語彙や表現、音声等を理解している。 ・社会的な話題（環境・共生）についての情報や考えを理由とともに話して伝える技能を身に付けている。	聞き手に自分の考えをよく理解してもらえるように、社会的な話題（環境・共生）についての情報や考えを、聞いたり読んだりしたことを基に、理由とともに話して伝えている。	聞き手に自分の考えをよく理解してもらえるように、社会的な話題（環境・共生）についての情報や考えを、聞いたり読んだりしたことを基に、理由とともに話して伝えようとしている。

4 指導と評価の計画

「指導と評価の計画」の工夫

○複数単元を組み合わせる指導

- ① 1学期に扱った Lesson 2 において、本単元 Lesson5（2学期）と同様の言語活動並びにパフォーマンステストを実施した。1学期のパフォーマンステストでは、事前にトピックを示してスピーチ原稿を準備させて、それを基にプレゼンテーションを行う形で実施した。この時点では、「評価の基準（ルーブリック）」の共有と1人1台端末での録画方法に慣れることも意識した。
- ② 本単元でのパフォーマンステスト当日にスピーチのトピックを示し、即興で考えをまとめた後にプレゼンテーションを行う形での実施とした。ここに至るまでに授業内では、ペアやグループでのプレゼンテーションとインタビューテスト等を実施し、生徒の様子を観察し指導・支援した。
- ③ 授業時の言語活動は、「日常的な話題や社会的な話題」について、情報や考え、気持ちなどを話して伝える場面を繰り返し設定してきた。そこでは、「論理性に注意しながら、理由とともに話しているか」どうかを判断するように促した。よって、文法の小さなミスは過度に意識しすぎないように生徒の意識改革を求めてきた。

○本単元での指導概要

- ① 単元の4時間目と7時間目では、単元末のパフォーマンステストに向けてのスピーキング活動（言語活動）を行った。4時間目では、身近なトピック（日常的な話題）について自分の意見と理由を即興で書いてから発表し合う活動を実施した。7時間目では、環境保護に関するトピック（社会的な話題）について、4時間目と同様の言語活動を行った。
- ② 「評価の基準（ルーブリック）」の理解を徹底するために、グループ内で評価し合った。また、英語の正確性が増すように、各自文字起こしをすることで自信をもってパフォーマンステストに臨めるように授業を展開した。

時間	ねらい (■), 言語活動等 (丸数字)	知	思	態	備考
1	■単元の目標を理解する。 ■単元のトピックに関する背景知識の活性化と題材への興味関心を喚起する。 ①知っている環境問題についてクラス全体で共有する。 ②単元の主人公に関する動画を視聴し、理解した内容をペアで確認し合う。 ③環境問題について自分なりの解決策を考えてグループ内で伝え合う。	一斉に記録に残す評価は行わない。 ねらいに即して生徒の活動の状況を見届けて指導に生かすことは毎時間行う。			
2 ～ 3	■主人公へのインタビューを読んで、情報や考えを読み取り、考えたことを話して伝え合う。 ①教科書の本文を読み、主人公の考えや生き方についての要約メモをまとめる。 ②読み取った内容に関する自分の考えを、ペアで話して伝え合う。 ③ペアを変えて②の活動を行う。				
4	■単元内容に関する日常的な話題について、自分の考えを話して伝え合う。 ①「好きな動物とその理由」について、ALT のモデルスピーチを聞いて参考にする。 ②①のトピックについて、自分の意見を即興で書いて、ペアで発表し合う。 ③ペアを変えて②の活動を何度も行う。 ④トピックを「動物に感情はあると思うか。なぜそう思うか？」に変えて①～③を行う。				・本単元の評価規準に照らして観察し、本単元で学習した語句や表現の活用、音声上の注意点、発表態度について確認し、適宜フィードバックを行う。
5 ～ 6	■主人公へのインタビューを読んで、情報や考えを読み取り、考えたことを話して伝え合う。 ①教科書の本文を読み、主人公が立ち上げた環境保護団体の理念について要約メモにまとめる。 ②読み取った内容に関する自分の考えを、ペアで話して伝える。 ③ペアを変えて②の活動を行う。				

7	■単元内容に関する社会的な話題について、自分の考えを話して伝え合う。 ①「環境保護団体に働くとしたら、人間、動物、環境のどれを重点的に保護する部署で働きたいかとその理由」について、ALT のモデルスピーチを聞いて参考にする。 ②①のトピックについて、自分の意見を即興で書いて、ペアで発表し合う。 ③ペアを変えて②の活動を何度も行う。 ④トピックを「自分が環境保護団体を立ち上げるとしたら何という名前にするかとその理由」に変えて①～③を行う。	一斉に記録に残す評価は行わない。ねらいに即して生徒の活動の状況を見届けて指導に生かすことは毎時間おこなう。			・本単元の評価規準に照らして観察し、本単元で学習した語句や表現の活用、音声上の注意点、発表態度について確認し、適宜フィードバックを行う。
8	■パフォーマンステストの手順を確認し、形式に慣れる。 ①パフォーマンステストの詳細について説明する。 ②パフォーマンステスト時とは別のトピックでリハーサルを行う。				
9	事例 1 パフォーマンステスト ①トピックの提示 ②テスト（タブレットへスピーチを録画） ③動画ファイルのアップロード ④ALTによるモデルスピーチ ⑤単元末の振り返りシート記入	○	○	○	・振り返りシートにより単元を通しての振り返りを行わせる。
後日	ペーパーテスト	○	○		

5 事例1 観点別学習状況の評価の進め方

パフォーマンステスト「話すこと（発表）」

(1) パフォーマンステストの目標（第9時）

教科書本文から学んだことを生かし、環境保護についての自分の考えを英語で表現する力を伸ばすとともに、聞き手に伝えようとする態度を養う。

(2) 評価の基準（ルーブリック）

評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	小さなミスはあるが、意味が伝わらない箇所はない。	自分の意見と意見を支持する適切な理由を2つ以上述べている。	はっきりと聞こえる声で、画面に向かって効果的に話そうとしている。
b	伝わらない箇所が1つある。	自分の意見と意見を支持する理由を1つ述べている。	聞こえる声で画面に向かって話そうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

(3) 指導と評価の流れ

〔指導の工夫〕

○本単元は、2学期の半ばに実施したものである。1学期に扱った単元で「話すこと（発表）」の領域に係る言語活動を実施し、その際に「評価の基準（ルーブリック）」を周知済み。さらに、本単元の言語活動（第8時）で再度「評価の基準（ルーブリック）」を確認。その上で、パフォーマンステストを実施した。

○普段の授業の中で、1人1台端末を使ってリテリングや音読を録画し、その動画を保存することに慣らしておくこともパフォーマンステスト本番へ向けて大切である。生徒たちが「評価の基準（ルーブリック）」を理解した上で、1人1台端末の利用に慣れている状況を作り上げることで、生徒は安心してパフォーマンステストに臨むことができていた。

〔評価の工夫〕

○1人1台端末で録画した各自のプレゼンテーション動画ファイルを視聴し、事前に示した「評価の基準（ルーブリック）」を基に、3観点で評価する。生徒たち自身も自己採点をしているが、教師の採点とほとんど差がでない様子であった。「評価の基準（ルーブリック）」が共有できていたと考えられる。

○単元末の振り返りシートは、同形式のものを毎単元末に記入させ、回収する。単元毎に学習した内容をまとめさせ、各自の英語学習について振り返る機会を与えることで、主体的に学習に取り組む態度を育てることがねらいである。振り返りシートの記入内容を評価し、「主体的に学習に取り組む態度」の評価に加えている。

学習場面	学習活動	学習活動における具体の評価規準・評価方法
導 入	・ ALT の説明を聴き、パフォーマンステストの方法を理解する。(5分)	活動観察
展 開	トピック : Do you think we should protect nature? Yes or No? Please give two reasons why for your opinion. ・ スピーチ原稿の作成 (10分) 発表されたトピックについて、辞書を使用しながら自分の意見を書いてまとめる。 ・ 1人1台端末に向かってプレゼンテーション (5分) ALT の指示を聴き、カメラアプリを起動し ALT の合図で録画ボタンを押し、タブレットに向かって発表する。(※スピーチは1分間) ・ 録画したプレゼン動画の提出 (10分) ALT の指示を聴き、録画した動画ファイルの名前を変更する。Teams を起動し、指定されたファイル内に動画ファイルをアップロードする。	活動観察
まとめ	・ モデルスピーチの確認 (5分) ALT によるモデルスピーチを聴く。Yes と No の両方のパターンについて ALT がスピーチをする。 ・ 振り返り (10分) 単元の振り返りシートの記入、回収。スピーチ原稿の回収。	回収した振り返りシートと動画ファイルを事後評価する。

(4) 評価例

評価事例[生徒のプレゼンテーション①]

Yes, I do. I think we should protect nature. Lots of people is destroying nature now but we should protect it. I have two reasons.

First, it could give us good influence. For example, many medicine is made by plants. If we destroy the nature, lot of people will be unhappiness by sickness. We need much medicine to live long time.

理由①

Second, nature is very beautiful. I think lot of people will go to travel. When you go to travel, one of the fun is looking at nature. I like to watch nature when I go somewhere. If the nature get destroy, I can't travel much. Because of these two reasons, we should protect nature.

理由②

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	a	b

「知・技」→伝わらない箇所がない=a

「思・判・表」→ 2つの理由が適切=a

「態度」→ ほぼメモを見ながら話している=b

評価事例[生徒のプレゼンテーション②]

△伝わらない

I think we should protect nature. I have two reasons why I think so.

First, it is important for us to protect nature. Not only humans' happiness but also other animals are happy.

理由①

Second, to protect nature will become to make a good future. Nature is useful for us a lot of points.

理由②

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
b	b	b

「知・技」→伝わらない箇所が1つ=b
 「思・判・表」→理由①と②が同内容=b
 「態度」→ほぼメモを見ながら話している=b

評価事例[生徒のプレゼンテーション③]

△日本語

Yes, I do. I have two reasons.

First, nature is making many Kuki.

Kuki is important for us people to live.

理由①

Second, nature stop danger. For example, when many raining, after it nature is in danger of landslide.

理由②

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
c	b	c

「知・技」→伝わらない箇所が2つ=c
 「思・判・表」→適切さに欠けるところがある=b
 「態度」→メモを読んでいて、画面に目を向けていない=c

英語コミュニケーションⅠ 振り返りシート
Lesson 5 Roots & Shoots

目標：環境保護の取組に関する自分の考えを、話して相手に伝えることができる。

STEP 1 授業について

○ワークシートに意欲的に取り組んだ。	1・2・3・4・5
○ペアワーク・グループワークに積極的に取り組んだ。	1・2・3・4・5
○クラスメイトと協力して学び合うことができた。	1・2・3・4・5

STEP 2 家庭学習について

○予習(単語調べ)をきちんとして授業に臨むことができた。	1・2・3・4・5
○復習(ワークブック・音読)に取り組んだ。	1・2・3・4・5
○課題にきちんと取り組んだ。	1・2・3・4・5

STEP 3 単元全体を振り返って

○Lesson5を通して学んだことを自由に書きましょう。

環境保護に関する様々な表現を学ぶことができました。また、自分の意見を伝えるときに使える表現も学ぶことができました。これから意見を伝えるときに活用していきたいです。環境について学ぶことも、ウサギやモリネを養っても、ニーズがもっと増えていって結局解決はできない。環境は年々問題が深刻化していると感じています。

STEP 4 英語学習について

○自分の学習方法について振り返り、反省点や改善したいことを書こう。

今日もきちんと単語の意味調べをやってから取り組めたのでよかったが、単語調べをやっていくことで、本文の授業のときに理解しやすくなった。これから継続していきたい。

授業の内容が難しくなっているのが、しっかり学習するようになる。

「主体的に学習に取り組む態度」の評価材料の一部

👉 「態度」の評価については、パフォーマンステストにおける評価に加え、振り返りシートの記述等も加味しながら、長いスパンでの見取りとなるようにしている。

➡ 自己の学習を振り返り、今後の学習の仕方について述べられているため＝b

(5) ペーパーテストにおける知識・技能の評価について

【指導の工夫】

- 言語材料（語彙・表現）の定着確認は、まず、授業時の小テストを実施。次にその言語材料を使用する言語活動とパフォーマンステストを行った。その後、ペーパーテストで言語材料の定着度を再確認する。このように、知識（言語材料）の定着には（暗記 → 使用 → 記憶定着）という段階を踏むことを重視して、「指導計画」を立てている。

【評価の工夫】

- 上述の通り、単元で学習した言語材料（語彙・表現）の知識の定着が達成されているかを次のペーパーテストで評価する。設問の形式は一般的なものであるが、記述する設問を多く設定するように心がけている。この一連の流れで、生徒たちの記憶が一時的なものではなく、永続的なものになると考えている。

本单元における重要語彙や表現

- 使役動詞 (have / let) + 目的語 + 動詞の原形
- in order to ~
- pay attention to ~
- the reason why ~
- This is how ~
- stay in touch with ~
- take advantage of ~

(4) Complete the conversation by filling in the blanks using the words in the parentheses.

1 A: Hello. I'm sorry for coming late.

B: I want to know _____. (late, the reason, you're, why)

2 A: Wow! You are really good at cooking.

B: How did you get that skill?

A: I watched what my mom did. _____.

(is, I, the skill, learned, this, how)

(5) Put the Japanese sentences into English.

1 リサは彼女に与えられたあらゆる機会を利用した。

Lisa took () of every opportunity that was afforded to her.

2 私は、ニューヨークに住んでいる兄と連絡を取り合っている。

I stay () () with my brother who lives in New York.

3 両親はこの夏、友だちと一緒にヨーロッパに行かせてくれた。

My parents () me () to Europe with my friends this summer.

ペーパーテスト (抜粋)